

同友ぐんま

第403号

2015年

9

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

共に働き、共に生きる企業づくりを

第1回障害者雇用フォーラム



七月二十二日(水)、高崎市総合福祉センターを会場に、今年度より発足した障害者雇用委員会&広報委員会の設営、群馬県後援のもと、「第1回障害者雇用フォーラム」を開催。当日は会員経営者や同テーマに関心の高いオブザーバー経営者、県内各地の障害者支援機関・特別支援学校、行政関係者など、総勢七〇名を超える参加者が集まりました。障害者雇用について学び合いました。

生沼障害者雇用委員長は開会挨拶で「厳しい経営環境のなか、中小企業はボランティアで障害者雇用を行うわけではない。法

定雇用義務の有無に関わらず、なぜ障害者雇用に取り組みのかを考える機会にしてほしい。誰もがイキイキと働ける企業づくり、社会づくりの第一歩になれば幸い」と語り、本フォーラムの開催意義を説明しました。

群馬県障害者就労支援係からの報告では、配付された資料・パンフレットに基づいて障害者雇用の基礎知識や県が実施する各種支援制度、取り組み事例などを説明。また、事業所・障害者、双方の支援強化を目的に設置される「障害者就労サポートセンター」の紹介DVDを放映し、同センターの積極的な活用を呼び掛けました。

基調報告では、えのきだけの生産・加工・販売を行う(株)柿の木農場、会長・柿島滋氏(長野同友会障がい者問題委員会委員)を報告者に招き、「障がい者と共に歩んだ二十八年」障がい者雇用を通して私が得たもの」をテーマに、自身の経営体験をお話いただきました。

柿島氏は「どの社長も知らないから取り組めない。私も職場実習の受け入れがキツカケだった」と、同社



が障害者雇用を始めた経緯を説明。その後、毎年の実習受け入れや定期採用、グループホームや就労継続支援A型・B型事業所の設立など、障害者と共に歩んだ道のりを様々なエピソードを交えて振り返りました。報告のまとめでは「最終的には経営者の心の問題。同友会には障害者雇用に取り組む土壌があるので、ぜひ多くの企業で実践してほしい」と参加者に訴え掛けました。

その後は「基調報告の感想と、それぞれの立場から思うこと」をテーマにグループディスカッションを実施。「立場を越え、皆で力を合わせて考えなければならぬ」「障害も個性。仲間として企業に迎え入れる体制づくりが大事」「知ってもらうには、こうした会の開催が非常に有意義」など、活発な意見が交わされました。

「継続は力! 参加するたびに会社が強くなる」

経営指針をつくる会・第1講

経営研究部会主催による第二十期「経営指針をつくる会」(一泊二日全六講)が今年度もスタート。企業の道しるべとなる経営指針を成文化し、かつてない厳しい経営環境に対応すべく、二十七社より三十五名が参加しました。

第一講は七月二十四日(金)二十五日(土)の二日間、沼田市内のホテルベラヴィータを会場に「経営理念の作成と深掘り」をテーマに開催。企業の根幹をなす経営理念の成文化や練り直しを中心に、講義や実習が行われました。



丹羽部会長の開会挨拶から始

まった一日目は、経営指針作成の基礎として、㈱和多利合同事務所・山口氏が「経営指針作成の意義と全体像」をテーマに、経営環境の構造変化や経営者の役割の説明を交えながら、その重要性を講義。また、五年前から参加を続ける三朋企業㈱・宮石氏が「経営指針作成で我が社はこう変わった」と題して報告し、「忙しいとか、忘れていた」という言い訳はできない。経営指針に明記したことを実行する土壌が社内に根付いてきた」と、試行錯誤を重ねた末の成果を披露しました。

その後のグループ討論では、両氏の講義・報告に込められた熱きメッセージを受け、自社の経営課題と参加目的を改めて明確にするとともに、今後の経営指針作成への想いを深め合いました。

一日目の後半から二日目は、今年度が初参加になるメンバーを中心に経営理念を検討するAコースと、昨年から連続参加に



なるメンバーを中心に財務分析を行うBコースに分かれて進行。Aコースは「経営理念検討シート」の記入とグループ討論を交互に行い、メンバーからのアドバイスを受けながら、創業者の想いや自社の使命を経営理念に重ねていきました。一方、Bコースは「企業変革支援プログラム」に基づいて経営課題を抽出した後、同業者比較などにより財務の面から課題整理をしていきました。

次回、第二講は「経営理念のまとめと自社分析」をテーマに行われます。半年後には参加者の想いが詰まった経営指針が完成することでしょう!

あのままの自分ではダメだ

太田支部7月例会

七月二十一日(火)、休泊行政センターを会場に、太田支部七月例会を開催しました。「あのままの自分であるために」女性の社会進出、どれだけ理解していますか?」をテーマに、太田支部所属の新会員、篠原労働管理事務所、副代表・篠原久美子氏が報告者を務めました。

元中学校の英語教師という経歴を持つ篠原氏は、映画「アナと雪の女王」の主題歌と、現在までの経験やその時々的心境をリンクさせて報告しました。好きな仕事に全力で取り組みながら、育児とのバランスで悩んだ日々。その悩みも全て受け入れ、ありのままの自分、で今の

仕事に取り組めるようになったキッカケ。仕事を続けることに協力してくれる人への感謝の気持ちなどを率直に語りました。

参加者アンケートには「女性、母親として働く方々の悩みがよく分かった」「将来的に女性が働きやすい職場を実現したい」「もっと女性社員の声に耳を傾けたい」などの意見が綴られていました。



消防設備・電気設備・PDCE避雷針のことなら

関東防災工業株式会社

- 本社 〒371-0857 前橋市高井町1-29-7
TEL (027) 251-3535
- 安中営業所 〒379-0126 群馬県安中市西上磯部1736
TEL (027) 385-5261
- 東毛営業所 〒370-0514 群馬県邑楽郡大泉町朝日5-8-21
TEL (0276) 55-3770

リーダーの考え方、仕事の進め方

沼田支部7月例会



者という認識を持つべき」としたうえで、業務の観点から「作業は経験値、仕事は考えて行動した結果である。リーダーはその結果を工夫しなければいけない」と語りました。また、業種的に女性のパートさんが多いため「差別はしない・売り場の小さな変化にも気付く・ビジネス用語は多用しない・各ハラスメントは常に意識する」などの注意点も紹介しました。

七月十七日(金)、利根沼田文化会館を会場に二十四回目となる「沼田支部」社員・共育例会が開催されました。今回は「リーダーの考え方、仕事の進め方」をテーマに、食品スーパーマーケット、焼肉店、回転寿司店などを経営する(株)サンモール、部長・小菅康彦氏、アルミ形材加工、ガラス販売加工の(株)沼田アルミ、リーダー・木村直明氏の二名に報告を依頼しました。

一人目の報告者、サンモール・小菅氏は、同社で三十年のキャリアを持つ自身の考え方を「各部門の長となる人は、経営

二人目の報告者だった沼田アルミ・木村氏が急遽出席できなくなってしまう、同社の社長である高橋秀隆氏が木村氏の準備した資料をもとに報告しました。冒頭、リーダーを配置した経緯を「それまでの社長、以下スタッフの組織では立ち行かなくなり、役職ではなく役割を持たせる意味で部門毎に配置した」と説明。また、社長としてリーダーに伝えた「報・連・相はきちんとしたルールを作った上で行う」「問題が発生した場合は最優先で対応する」「明確な判断基準を持つ」「必ず5W1Hの視点で部下に指示を出す」な

どを紹介しました。木村氏の準備した資料に目を向けると、その内容が細分化され、自分なりのロジックが組み立てられており、社長の考えをしつかり理解していることが見てとれる内容でした。

報告後は経営者側、社員側に分かれて、同じ立場でのグループ討論が行われ「チームリーダーは会社の要である」「結果や数字が求められるのでプロ意識が必要」「中間的な立場になるのでコミュニケーション能力が重要」などの意見が出されていました。

業界の生きた情報进行交流!

伊勢崎支部7月例会

営している様子が伺えました。

例会アンケートには「自業界に籠ってはいけぬ知れない貴重な情報が得られた」「各社ともに弛みない企業努力を行っているのが刺激になった」「ますます人手不足が加速するなか、どの業界も人材の採用・育成・定着が喫緊の課題と感じた」などの感想が綴られていました。



キーパー財務15・経営羅針盤15



財務の力を経営の力に

キーパー経営羅針盤15なら、会社でも自宅でも自社の財務状況をリアルタイムに把握し、チェックすることが可能です。

同友会 高崎支部会員

株式会社 シスプラ

http://www.syspla.co.jp/

☎ 0120-638-377

群馬県高崎市関原町3-10-3 商業センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313

“塗装工事何でもお受けします”

コンサルタントが一切入らない、手作り小冊子
「塗り替えをする前に、知っておきたい知識」

無料プレゼント

送り先明記で、ファックスまたは、メールにてご請求ください。



高品質・高機能塗装 (有)クチキテック

代表取締役 朽木 康

〒378-0015 沼田市戸鹿野町324-3

E-mail: kuchikitec@yahoo.co.jp URL: http://www.kuchikitec.jp

携帯 090-4911-8900

TEL 0278 (22) 0691

FAX 0278 (22) 0696

クチキテックで検索

サバードンと何はあそびのめ

前橋支部7月例会

前橋支部では、七月二十二日(水)、前橋市中央公民館を会場に「ナンバー2として何をするべきか?」サラリーマンから経営幹部に、その時どうする?と題して、PR広告企画制作、ホームページ企画制作と運営管理などを行う、(株)アルファ企画、取締役・神谷幸広氏が報告しました。

同社に入社し十一年目を迎えた神谷氏に転機が訪れたのは、二〇一四年四月でした。上司二名の退職により、事実上会社のナンバー2という立場になりました。

「それまでは自分の営業数



字だけを追いかけ、経営については無関心だった」とサラリーマン時代の心境を語りました。

社内での立場が変わったこと、自身の結婚が控えていたこともあり「このままではいけない」と経営について真剣に考え始めた頃、同友会に入会。例会にも積極的に参加し、学びを社内にフィードバックさせていきます。しかし「どうしたら組織が一つの方向に向かえるのか?」という悩みはなかなか解消できずにいました。

その解決のヒントとなったのは、会議の活性化をテーマにした例会で紹介された「同意と合意の違い」でした。お互いに納得(合意)し進めていった一例として、営業間でクライアントの情報共有や、クライアントのリンク管理などが出来る社内管理システムを構築し、本格的な運用に漕ぎ着けたことを紹介しました。

今後は「二人の上司が退職する前の売上・粗利率に戻す」「一営業マンとして、社長の売上を上回る」「労働分配率四〇%台

を目指す」と具体的な目標を發表しました。

報告後は「後継者がやるべきこと/後継者に期待すること」をテーマに、参加者がそれぞれの立場で意見交換を行いました。

参加者アンケートには「経営

経営者が知るべき7つの視点

「経営指針をつくる会」のアドバイザーとして長く活躍する(株)和多利合同事務所、代表取締役・山口勝氏(前橋支部)を報告者に「桐生支部7月例会」を開催しました。テーマは「経営者が知るべき7つの視点」経営数値をどう見るのか?」。

財務から見る経営力について、各種経営指標・分析の重要性を細かく説明。「KKD(勘・経験・度胸)の経営は最早通用しない時代。マネジメント」対処療法ではないことを自覚し、戦略的に手を打つのが経営者の役割」と語りました。また、そのためのツールとして「経営指針の作成は同友会の中心的な活動の一つ。仲間たちと一緒に切磋琢磨し、会社の未来を切り拓こう」と、経営指針をつくる会への参加を呼び掛けました。



桐生支部7月例会

に携わる事への決意が感じられた」「同友会の学びを記録し、実践していく姿勢は素晴らしい」「経営にはテクニカルな部分も必要だが、覚悟が重要だと改めて感じた」などの感想が記されていました。

報告後は「決算書を経営にどう生かすか」をテーマにグループ討論を実施。「後継者として理解しないとまずい。この例会をキッカケにしたい」「自社の現状を把握できなければ的確な手も打てない」「経営戦略を考えずに経営者と言えるのか?耳が痛い」などの意見が交わされました。

部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が出来ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

<環境対策の PRO COMPANY>

目指すのは「屋久島の森の空気」です

「進化」皆様からのご要望により「工場などの環境改善機器」の取扱い始めました。

 **KÄRCHER®**

makes a difference

Deo+plus
デオ・プラス
www.deoplus.net

株式会社デオ・プラス

〒370-0005 群馬県高崎市浜尻町 586-3
tel: 027-365-2236 fax: 027-315-3236
e-mail: ozone@deoplus.net

創業者の娘として生まれながら

渋川吾妻支部7月例会

「聞こうよ仲間たちの話を」を今年度の方針として掲げている渋川吾妻支部の七月例会は、㈱コモチの齋藤和子専務が「創業者の娘としてどう生きてきたか」と題して報告しました。

同社は農家の六人兄弟だった先代が貧しさから脱却したいと昭和四十三年に軽石の採石業を創業したのは始まり。その後、コンクリートブロックの製造を開始し、一九八四年に夫である現社長とともに入社しました。「子供の頃、家では会社のことで夫婦喧嘩が絶えず、とにかく早く家を出たいと、ずっと思っていた」という齋藤氏。高校卒業後は東京へ進学し、別の



道へ進みました。しかし反面、両親に対する感謝の気持ちも強く、三姉妹の長女だったこともあり、現社長との結婚を機に帰ることを決意しました。その際、「どんなことがあっても、私は絶対に主人の味方をする」と、固く心に誓ったと言います。

入社後しばらくは父に言われるがままだったものの、事業承継を考えると多くの改革が必要であることを実感した齋藤氏は、組織づくりに着手。「父とは考え方の違いから、一時は関係も最悪でした」と、当時は振り返りながら、それから取り組んだ改革一つひとつを率直に語りました。

「組織になっていなかった頃、社員は好き勝手、やりたい放題でした。でも、そうした環境をつくってきってしまったのは私たち経営者の責任ですから、社員さんをとがめるようなことは一切しませんでした」という齋藤専務の言葉が胸に残る例会となりました。

参加者からは「いつも笑顔が素敵な齋藤さんが、こんなに苦

勞してきたとは思いません、とても驚いた」「やっぱり仲間の率直な経営体験からは学ぶことが多い」「社長の仕事は人育て。行動で示すことが大事だと実感した」「経営者の責任と覚悟に感動した」などの感想が寄せられていました。

困難を乗り越える力の源

高崎支部7月例会

紙製品の製造・製本・印刷などを手掛けるリード工業㈱、代表取締役・大塚利恵子氏（高崎支部）が報告者を務め、「困難を乗り越える力の源」「二代目社長、四年間の奮闘記」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

創業者である父親が倒れ、不安や恐れと戦いながら三十五歳で社長に就任した大塚氏。社員



の離職や度重なるクレーム、時を同じくして次女の不登校、長女の難病という家庭の問題が重なり、「三期連続の赤字決算に陥った」と言います。そうした困難を乗り越える力の源として、家族の愛、社員の愛、仲間の愛を一つ一つ紹介していきました。また、「将来を見据えた投資を積極的に行った」という直近一年の取り組みと合わせ、「めざすは日本一の製本屋」との決意を表明しました。

報告後は「あなたの困難の乗り越え方は？」をテーマにグループ討論を実施。「全社一丸となって取り組めるかどうか」「最後は経営者の気持ち次第」「困難があるからこそ頑張れる一面もある」などの意見が交わされました。



アルミ精密部品の切削加工メーカー

有限会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市市新町103-2

TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059

URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

笑顔1番
看板2番



かんぱん各種
電光掲示板
ステッカー
デザイン
群馬テレビ代理店
とちぎテレビ代理店

地域密着型フリーペーパー
ふりペッパ

活気ある街並み創る
東和広告システム



株式会社
東和広告システム

＜本社＞ 桐生市境野町7-50-1 ☎0277-32-5503
＜高崎＞ 高崎市菅谷町369-1 ☎027-388-0356
＜埼玉＞ 加須市騎西31-1 ☎0480-31-8412
＜宇都宮＞ 宇都宮市兵庫塚3-10-24 ☎028-678-6631



知的財産権の 赤ひげ先生をめざして



羽鳥国際特許商標事務所

所長・弁理士 羽鳥 亘 氏(前橋支部所属)

Q & A

▼業務内容の紹介

当事務所では、独立開所以来、群馬で生まれ群馬で育った地元の弁理士として「知的財産権を通じて郷土群馬のために働く」ことを事務所の基本姿勢としております。

お蔭様で、多数の皆様からのお力添えを戴き、この二十八年間で約二七〇〇件の特許・実用新案、約六五〇〇件の意匠・商標の取り扱いをさせて頂いて戴きました。

また、本館と、全ての取り扱い書類を大切に保管する専用書庫を備えた別館からなる事務所において、最先端の知的財産業務を提供させて頂いております。

▼開所当時を振り返って

大学卒業後、大手電機メーカーへつとめており、昭和六十年、在職中に弁理士試験に合格しました。その後、独立を考えて東京の特許事務所へ修行の後、昭和六十二年に独立開所いたしました。

当時、群馬県内に特許事務所はなく、みな東京の事務所へに頼んでいる状況でしたので、県内第一号の事務所としてスタートした次第です。とは言え、仕事があるかどうかはわからない中での独立は正直怖かったですね。

同友会へは独立三ヶ月後に創立会員の一人だった故・天田實氏の紹介で入会しました。

当時は真面目に例会にも参加しておりまして(笑)、いま思えば、ずいぶん皆さんに助けてもらいました。

今でこそ浸透してききましたが、当時は「便利屋さんかいい？」と、よく間違われましたね(笑)。

▼イチオシ(特徴)は？

冒頭にも申し上げた通り、やはり群馬県に、そして中小企業に特化していることだと思います。以前は大手の仕事もやりましたが、現在は取引先五〇〇社のほとんどが中小企業です。

そのため、中小企業の目線で知的財産の出願・登録を取り扱えることが強みだと思います。

また、通常の事務所は特許が約九割、商標が一割と、圧倒的に特許関係が多いのですが、当事務所は半々くらいで取り扱っています。特許・実用新案も意匠・商標も、どちらも偏りなく一定の実績があることは、うちの大きな特徴の一つです。

こうした知的財産は、自分では問題ないと思っても、突然訴えられたりすることもあります。特に商標はきちんと調べて登録しておかないと、訴訟問

題になりかねないので、会員の皆さんには充分気を付けてもらいたいところです。

▼これからの展望は？

一般企業と同じように、当事務所にも永続性が求められると思います。既に息子が弁理士を志していますので、これからも人と人とのつながりを大切にしながら堅実な対応と徹底した管理につとめ、十年後を目途に世代交代の準備もすすめていくつもりです。

今後とも、群馬に根を張る「知的財産権の赤ひげ先生」を目指し、安心確実で身近な特許商標事務所として全力を傾注していく所存ですので、どうぞお気軽にご相談ください。宜しくお願い致します。



〒645-5027 前橋市北代田町645-5027
TEL 027-231-6288
URL http://www.raijin.com/po-hatori/

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【防災ハンドブック県に寄贈】

パリッシュ出版(株)

エフエム群馬とパリッシュ出版(株) (代表取締役会長・土屋和子氏、前橋支部所属) はこのほど、「ぐんま防災ハンドブック2015」を作製、県に寄贈した。災害発生時の行動チャートや災害に備えるためのポイントについてまとめたもの。17日に県庁で寄贈式が行われた。両社は12年から防災やキャリア教育、食育についてのハンドブックを製作しており、今回が4回目。6万5000部を発行し、県内の小学4年生から6年生に学校を通じて配布する。

[7/23付ぐん経]

【オリジナル住宅「SARA」発売】

司建設(株)

エアムープ住宅を手掛ける司建設(株) (代表取締役・松井照夫氏、沼田支部所属) はこのほど、収納スペースを豊富に盛り込んだオリジナル住宅「SARA」の販売を開始した。エアムープ住宅でマイホームを建てた1000家族を対象にアンケート調査を実施。その答えを「カタチ」にしたもので、屋根裏や床下に空間を設けている独自のエアムープ工法により、家全体を断熱材で覆い、夏も冬も快適に暮らせる住み心地の良い居住空間を前面に押し出していく。

[7/23付ぐん経]

【販売・マーケティングテーマに】

税理士法人 田子会計事務所

田子会計事務所 (副所長・田子宏美氏、前橋支部所属) は7日、県勤労福祉センターでセミナーを開き、約40人が参加した。同事務所では年に数回、経営支援の一環としてセミナーを開催している。今回は「職人醤油.com」を運営する伝統デザイン工房の高橋万太郎社長を講師に招いて「販売・マーケティング～発展編～」として実施した。

[7/30付ぐん経]

【片付けテーマに講演】

スクート

ぐんま男女共同参画センターは26日、「片付けセミナー」を同所で開き、家族連れを中心に約30人が参加した。片付けを通し、家族のコミュニケーション力アップを図ることが狙い。講師は人材育成・業務改善コンサルティングを手掛けるスクート、代表・高山和則氏 (伊勢崎支部所属)。まず高山氏は派遣業界で25年以上人材育成にかかわった中で、「無断欠勤する派遣社員に、共通していたのが部屋の汚さ」だとし、業績の悪い会社も社内の整理整頓ができていないケースが多いことも指摘。さらに、人は1日平均で捜し物を約20分しているが、片付けの苦手な人は60分に達すると紹介した。

[7/30付ぐん経]

【レタス発泡酒 売れ行き好調】

(株)野菜くらぶ

農産物の販売を手掛ける(株)野菜くらぶ (代表取締役・澤浦彰治氏、専務取締役・毛利嘉宏氏、沼田支部所属) が開発したレタスを使った発泡酒の売れ行きが好調だ。「商品が足りなくて、お客さんにしかられている」と、澤浦社長はうれしい悲鳴を上げている。製造は醸造設備を持つ他企業に委託しているが「1カ月に150ケースしかできず、入荷するとすぐに売れていく」。お酒の好きな社員が開発に挑んだが「昨年に試飲会をした際は、グラスに注ぐとすぐに泡がなくなり、おいしくなかった」という。改良を重ねて透き通ったコクのある味わいになった。「次は大根を使った焼酎を研究している」と明かす。

[7/31付日経]

【蘭玉容器 注文応じ多彩な印刷】

蔵前産業(株)

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録を盛り上げようと、3年前に開発された。デザインはだる

まやマトリョーシカ、赤ちゃん、ピーナツなどさまざま。注文に応じて多彩な印刷を施すことができる。医療機器部品製造の蔵前産業(株) (取締役会長・橋本勝氏、代表取締役・松下信一氏、前橋支部所属) が、紙のプレス加工技術を生かして作った。元は医療用の白い紙容器。従来、清潔感やコスト増を理由に白い紙容器への印刷は避けられていたが、そこに付加価値を見いだした。全国展開を目指し、ことし2月に「紙うつわ くらまえ」のブランドを立ち上げた。装飾ひもや容器に入れるものも含め、トータルコーディネートを提案する。今後は多様な形、大きさを製作する予定だ。

[7/31付上毛]

【日本公庫の農業表彰「輝く経営大賞」】

(有)古代米浦部農園

優れた農業経営を表彰する日本政策金融公庫農林水産事業の「アグリフードEXPO輝く経営大賞」で、東日本エリアの大賞に、農業生産法人の(有)古代米浦部農園 (代表取締役・浦部修氏、高崎支部所属) が選ばれた。浦部農園は、30ヘクタールの農地でうるち米や古代米、大麦などを有機栽培し、販売している。農産物の展示商談会である同EXPOへの出展を機に外食業者との取引を始め、有機JAS (日本農林規格) 認証のコメの需要開拓を実現した。積極的に研修生を受け入れ、生産方法を指導し、独立を支援するなどの取り組みも評価された。

[8/5付上毛]

【スリランカへ焼却炉】

(株)ジー・ピー・ワン

中小企業の製品、技術を活用して開発途上国の課題解決を図る国際協力機構 (JICA) の「案件化調査」に、焼却炉の企画製造を手掛ける(株)ジー・ピー・ワン (代表取締役・石坂浩一氏、渋川吾妻支部所属) が選ばれた。同社は、医療廃棄物による環境汚染に悩むスリランカに自社焼却炉を導入することが可能か1年間調査し、将来的には現地で製造販売を目指す。

石坂社長は「JICAの調査メニューと自社の海外進出スキームが合致した。現地の会社と組んで製造販売することも視野に入れている」と話した。

[8/13付上毛]

【前橋に大型物流拠点】

吉田運輸倉庫(株)

運送業の吉田運輸倉庫(株) (代表取締役・吉田忠氏、高崎支部所属) は前橋市に大型物流拠点を新設する。土地取得を含めた総投資額は約20億円。保管能力を5割引き上げる。景気回復を背景にした取引先メーカーの取扱量の増加に対応する。早ければ2016年度に着工、段階的に増築して20年度の完成を目指す。同社ではメーカーの増産などで既存倉庫は手狭な状態が続く。また、群馬は企業の新規進出も相次いでおり、保管能力を大幅に増やして顧客獲得を強化する。

[8/13付日経]

【ピザ作り体験で街中活性化】

増田煉瓦(株)

前橋市はこのほど、市内中心部にピザ作りが体験できる観光体験交流施設「まちなか工房」 (前橋市千代田町2-8-11) をオープンした。ピザ窯製造の増田煉瓦(株) (代表取締役・増田晋一氏、前橋支部所属) が技術指導などで協力。専門学校生徒の実習の場として活用するとともに、市民や観光客向けの体験教室を実施、中心街の活性化につなげていく。ピザ作り体験教室は、増田煉瓦から石窯の無償提供を受け昨年度、国際交流広場ホールで試験的に実施し好評を博した。だが、同ホールが解体されることになったため、他の場所での継続を検討。中央通りにある市所有の施設を改装し開設することにした。

[8/20付ぐん経]

【組織変更 & 代表取締役就任】

阿左見メカニカル、代表・阿左見徳之氏 (沼田支部所属) では、この度、「(株)あざみ創機」に組織変更し、合わせて「代表取締役」に就任しました。

新会員
ご紹介8月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

ローカルガーデン

〒379-2153 前橋市上大島町48-16

TEL : 027-226-1040

FAX : 027-226-1041

建築エクステリア工事業・設計・施工管理

代表
小松崎 真 司
S57年生

【紹介者/岡部 健】

「お庭の相談所」を開設して、お庭のデザインや、お庭の施工、お庭のメンテナンスなど、お庭に関するお問い合わせが、多くあります。お庭のデザインや、お庭の施工、お庭のメンテナンスなど、お庭に関するお問い合わせが、多くあります。

前橋支部

第4回
理事会報告

日時 八月四日(火)

十八時三十分

会場 同友会事務所

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事/澤浦、田村、相沢、常任理事/丹羽、吉池、杉崎、生沼、増田、平岩、高橋、町田、宮石、榎原、岡村、阿左見、清塚、理事/海老沼、遠山、根岸、前田、金井、事務局/黒岩、阿久澤、竹内(役員計二十一名)

【議事】

前橋支部長の町田理事が議長をつとめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第四回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 支部・部会・委員会報告

各組織代表者より、報告や案内連絡等がありました。

2. その他

○杉崎理事及び黒岩事務局長より、岩手県盛岡市で開催された第四十七回中同協定時総会の参加報告がありました。

○七月二十二日に開催された「第一回障害者雇用フォーラム」について、生沼障害者雇用委員長より実施報告がありました。

○事務局より「第七回関東甲信越支部長交流会」ほか、全国行事の案内がありました。

II. 承認事項

1. 理事会への提案

① 新卒採用に関するアンケート調査について

宮石高崎支部長より、高校生の採用に関するアンケート調査を全県で実施したい旨の依頼があり、主旨説明を踏まえて、これを承認しました。

宮石高崎支部長より、高校生の採用に関するアンケート調査を全県で実施したい旨の依頼があり、主旨説明を踏まえて、これを承認しました。

2. 入退会者承認と仲間づくり推進について

前回理事会以降の入会者一名、退会者二名を承認。会員数は五〇五名となりました。

III. 審議事項(意見交換)

六月理事会で議論となり、八月に審議予定となっていた入会資格(基準)について、予定通り意見交換を行いました。

はじめに、規約の条文やこれまでの入会に関する申し合わせ事項等について黒岩事務局長が説明。

それを踏まえて率直に意見交換を行いました。

各グループから出された意見を踏まえ、この案件については総務会で一旦預かり、たたき台をまとめた上で再審議することとなりました。

IV. その他

1. 次回の理事会開催日程

第五回理事会を左記の通り開催することを確認しました。

日時：九月一日(火)

十八時三十分より

会場：同友会事務所・会議室

これからお客様の信頼を糧に

私たちは、
私たちにできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
TAKASAKI E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: http://www.jp-t.co.jp

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25



銀座発! 全室完全個室のリラクゼーションサロン

relaxation salon Ruan

リラクゼーションサロンルアン 前橋店

贅沢な個室空間でオールハンドによるセラピストの
体のほぐし、リフレクソロジーをご堪能ください。

完全
個室オープン記念
《全メニュー》

ALL 20% OFF!

《ボディ》
20分〜…2,000円〜→1,600円〜
《足つぼ》
20分〜…2,100円〜→1,680円〜
その他セットメニューなど各種メニューございます。

※価格は税別表記です。

全室完全個室の贅沢空間で、人目を気にせずあなただけの癒しのひとときを過ごしていただけます。施術は全て女性スタッフが対応!! 男女問わずご利用OK。

ご予約 TEL.027-243-1123

《営業時間》 11:00〜21:00(最終受付 20:00)【年中無休】

駐車場4台完備 ※ご利用の場合はお電話にてお問い合わせを

住所 ■前橋市表町2-10-19 表町ビル 2F

